

- トヨタ自動車、レクサス「SC430」、トヨタ「アベンシス」「アベンシスワゴン」のタカタ製エアバッグのインフレーターに不具合があるとしてリコール  
助手席用2段展開制御式エアバッグのインフレーター(膨張装置)において、原因は判明していないが、エアバッグ展開時にインフレーター容器が破損する恐れがあることから、全車両、予防的措置として、当該インフレーターを交換する。 08年1月7日～10年7月16日に生産した計292
- スズキ、「パレット」「ワゴンR」、日産OEM「ルークス」・マツダOEM「AZ-ワゴン」等計6車種のエアコンコンプレッサーに不具合があるとしてリコール  
エアコンのコンプレッサオイル充てん量が不適切な為、エアコン使用時にコンプレッサ内の潤滑が不足することがある。その為、そのまま使用を続けると、コンプレッサ内部が焼き付き、最悪の場合、エンジン回転数低下時に走行中エンストすることがある。 08年1月9日～15年5月18日に生産した計161万6
- 富士重工業、「レヴォーグ」「WRX」「レガシィ」のパーキングブレーキに不具合があるとしてリコール 14年5月13日～15年9月16日に生産した6万3598  
VDC(ビークルダイナミクスコントロール)ユニットの電動パーキングブレーキ制御プログラムが不適切な為、車両駐車時に電動パーキングブレーキが作動させ、一定時間後にイグニッションスイッチをオフからオンに操作すると、電動パーキングブレーキのモータが作動し続けることがある。その為、当該モータが損傷し、電動パーキングブレーキが解除できなくなる恐れがある。
- 富士重工業、「フォレスター」「WRX」「レヴォーグ」の吸気ダクトに不具合があるとしてリコール 15年4月10日～同年10月21日に生産した1万7117台  
直噴ターボエンジンの吸気ダクトにおいて、製造管理が不適切な為、正規と異なる材料で製造されたものがある。その為、使用過程で耐油性能や耐熱性能が低下し、ダクトに亀裂が発生してエンジン不調となり、最悪の場合、エンストする恐れがある。
- ポルシェジャパン、「カイエン」等7車種のブレーキペダルに不具合があるとしてリコール 10年5月22日～16年2月9日に輸入した計6101台  
ブレーキペダルにおいて、ペダルアッセンブリ組み立て時にブレーキペダルシャフト抜け止めのサークリップが装着されていないものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、ブレーキペダルシャフトがブレーキペダルブラケットから抜け、最悪の場合、ブレーキが効かなくなる恐れがある。
- ダイハツ工業、「ムーブ」・スバルOEM「ステラ」のスタータに不具合があるとしてリコール 14年11月24日～15年10月30日に生産した9万2249台  
プッシュスタート付車のスタータにおいて、作動制御プログラムが不適切な為、プッシュスタートボタンの操作の直後に、シフトをPからNレンジに操作をすると、スタータ内部が焼きつくことがある。その為、スタータ内部が固着により異音が発生し、そのまま使用を続けると、最悪の場合、エンジンが始動できなくな
- メルセデス・ベンツ日本、「C200コンプレッサー」等計11車種(不明1車種含む)のエアバッグに不具合があるとしてリコール  
エアバッグ等を制御するSRSコントロールユニットにおいて、当該ユニットの集積回路の製造が不適切な為、回路内の半導体が腐食するものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、半導体が膨張し、電気回路が遮断され、衝突時等にエアバッグが作動しない恐れがある他、特定の電気回路が遮断されると、突然、エアバッグが作動する恐れがある。 07年3月1日～09年2月2日に輸入した計2
- ダイハツ工業、「ムーブ」・スバルOEM「ステラ」のパーキングブレーキに不具合があるとしてリコール 15年4月22日～同年5月19日に生産した4673台  
足踏み式パーキングブレーキにて、ブラケットの製造が不適切な為、ブラケットとポールとの隙間が狭いものがある。その為、駐車ブレーキ操作時にブラケットとポールの抵抗が大きくなり、最悪の場合、パーキングブレーキを保持できなくなる恐れがある。

台